



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2024年（令和6年）9月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第290号

じんけんへいわ
人権と平和は

せいぎ
21世紀のキーワード

〒720-0061

ふくやましまるのうち
福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789

FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp

おやこ にゅうかん
親子で入館されると「絵本『母と子の八月八日』の復刻本を一冊進呈します！」

（先着100組様まで、終わり次第終了となります。）



え 絵 さとう 圭史

えほん はは こ はちがつようか げんがてん
絵本『母と子の八月八日』原画展

ふくやましじんけんへいわしりょうかんかいがん
福山市人権平和資料館開館30周年記念企画

きかん がつ か きん がつ か にち
期間 9月20日(金)～11月24日(日)

ほ し さんになぞう
「母子三人像」とは

それは、空襲の翌朝、犠牲になった母子三人の悲惨な姿を目撃した市民の証言をもとに、全ての被災者を象徴化して制作された慰霊の像であり、同時に、福山市民の平和を希求する祈りの像でもあります。現在福山市戦災死没者慰霊の像として、裏面に続く

ふくやましちゅうおうこうえん せっち
福山市中央公園に設置されています。

えほんせいさく おも 絵本制作の思い

だいにしせかいだいせんまっき にほんほんど くうしゅう げんご ぜっ しれつ
第二次世界大戦末期の日本本土への空襲は、言語に絶する熾烈きわまりないもの
でした。犠牲者は、ごじゅうまんにん すいてい こ にほん しゅよう と しにひゃくいじょう かいじん き
五十万人（推定）を超え、日本の主要都市二百以上が灰燼に帰し
てしまいました。あれから七十九年の時を刻み、焼けるものは全て焼き尽くされ
荒涼とした「ふるさと」の悲惨な姿も、見られなくなりました。また、この悲惨な
こくりょう ひさん すがた み ひさん
荒涼とした「ふるさと」の悲惨な姿も、見られなくなりました。また、この悲惨な
ふくやま れきし かた つ もの しょうすう ふうか いっと
福山の歴史を語り継ぐ者も、ごく少数となり、やがて風化の一途をたどっていくの
ではないかと思われます。

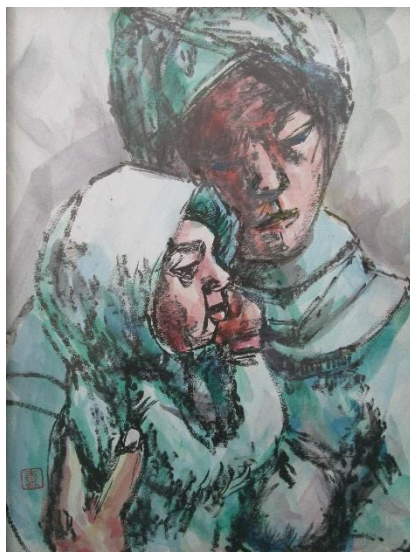
「ふくやま れきし なか まち き だいじけん かた つ
「福山の歴史の中で、街が消えてしまうほどの大事件が、ほとんど語り継がれてい
ません。僅かに残されているのは、ちゅうおうこうえん ぼ し さんにんぞう
中央公園の『母子三人像』ぐらいです。」

この絵本を多くの大人の方々にも読んでいただき、子どもたちと、せんそう ひさん
戦争の悲惨さや
むな せいめい そんげん へいわ おも あらた きょうゆう ねが
虚しさ、生命の尊厳や平和などの思いを改めて共有していただきたいと願ってお
ります。
(えほん はは こ はちがつようか
絵本「母と子の八月八日」より)

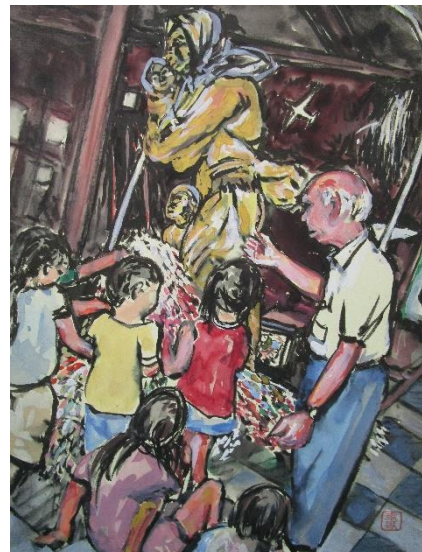
げんがてんじ さくひん 原画展示の作品



ふくやまくうしゅう えんじょう ふくやま
福山空襲で炎上する福山



ぼしぞう
母子像



しりょうかん へいわがくしゅう
資料館における平和学習

オープニングセレモニー

にち し がつ か きん
日 時：9月20日（金）10：00～
ない よう はは こ はちがつようか ろうどくかいほか
内 容：「母と子の八月八日」朗読会他
ば しょ ふくやましじんけんへいわしりょうかん
場 所：福山市人権平和資料館

こうえんかい はは こ はちがつようか おち 講演会：「母と子の八月八日」にける思い

にち し がつ か にち
日 時：11月24日（日）10：00～
こう し えほんせいさくいいんかいだいひょう ただ みち お
講 師：絵本制作委員会代表 多田 三千男
ば しょ ふくやましじんけんへいわしりょうかん
場 所：福山市人権平和資料館

※ りょうじつ にゅうじょうむりょう
※ 両日とも入場無料となります。